

# 道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第26号  
2023.12.22発行  
葉山町立南郷中学校  
校長 益田 孝彦  
Tel. 046-875-9494  
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

## ◇◇ 第26号のダイジェスト ◇◇

1. アンサンブルコンテスト神奈川県大会中学生の部で、本校の打楽器三重奏「ケルベロス・ドラムス」が、銀賞を受賞しました。詳しく読んでいただければ伝わると思うのですが、大変見事な演奏で、東日本大会に進出した7組の演奏に、全く引けを取らない素晴らしい演奏でした。
2. 葉山町教育長と鎌倉税務署管内納税貯蓄組合会長が来校され、税の作文表彰を行いました。さんが、教育長賞を、さんが、鎌倉税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞授与されました。そして、南郷中学校自体が、感謝状を添えて表彰されました。
3. 最近の南郷中学校の様子を踏まえ、校長のコラムを書かせていただきました。自転車のマナーと、自由服登校に寄せて私が感じていることを書いています。
4. 2023年が終わろうとしています。来年が少しでも良い未来になっていきますよう祈念します。

## ◆◆ アンサンブルコンテスト神奈川県大会を楽しんできました。 ◆◆

12月17日(日)、茅ヶ崎市民文化会館にて開催された第47回神奈川県アンサンブルコンテスト神奈川県大会中学生の部に行ってきました。本校から、打楽器三重奏「ケルベロス・ドラムス」が出場するので、応援に駆けつけたのです。

出場チーム数は50組。南郷中は25組目に演奏なので、お昼の休憩時間に到着し、21組目の演奏から鑑賞させていただきました。各地区で金賞を得て、さらに県大会進出の権利を得たチームの演奏なので、基本的に上手いのはもちろん、どれだけ会場や審査員の心を動かす演奏ができるかが鍵を握ります。打楽器だけの構成で県大会に進出したのは4チーム。7人の審査員には、打楽器を専門とする審査員も1名います。

さていよいよ南郷中学校の演奏です。50チームの中で唯一メロディのない、「ビートのリズムの同期性と、ビートの強弱による表現、そして演奏者の立ち姿の美しさ」で勝負する南郷中学校の「ケルベロス・ドラムス」が、どんな演奏をするかワクワクしながら鑑賞しました。県大会予選前も、県大会が決まった後も3人で一生懸命練習に取り組んでいましたが、その成果が試されます。演奏の出来は、ビートの同期が優れ、強弱の表現も秀逸、何よりも演奏する3人の立ち姿が決まっています。格好よい、迫力の演奏を披露してくれました。演奏を聴いているだけで感動の涙が出てくる素晴らしい出来映えでした。私は30組の演奏を聴きましたが、他にも素敵なものはありましたが、南郷中の演奏がとりわけ素晴らしかったと感じています。

採点の結果、「銀賞」でしたが、審査員のお一人に、10点・10点(満点)をつけてくださった方がいます。私もその審査員さんと同じ感覚ですが、旋律をどう奏でるかを専門とする審査員が多いので、金賞・東日本

大会進出を惜しくも逃したのだらうと感じました。

南郷中学校からもたくさんの仲間や保護者の方が駆けつけてくださいました。心より感謝申し上げます。会場は写真撮影等一切禁止なので、表彰式を終えての様子を紹介します。



◆◆ 葉山町教育長と鎌倉税務署管内納税貯蓄組合会長が来校され、税の作文表彰を行いました。 ◆◆



第24号でお知らせした通り、3年生の  
さんが、葉山町教育委員会稲垣教  
育長から教育長賞を、同じく  
さんが、鎌倉税務署管内納税貯蓄組合野村会  
長から、鎌倉税務署管内納税貯蓄組合連合  
会優秀賞をそれぞれ授与されました。また、  
南郷中学校自体が、感謝状を添えて表彰さ  
れました。

最近感じていることをこの場を借りて、お伝えさせてください。～「考えて行動する人」～

- ・本校の生徒指導の先生が、皆さんの自転車利用に係るマナーを心配されています。  
→長柄の交差点を過ぎたあたりから、ノーヘルメットで自転車を漕いでいる人がいるようです。世の中が一般の方まで含めて、ヘルメット着用が努力義務になっている背景は何故でしょう。事故に遭ったときに命を失わないですむ確率が高くなることはもちろん、頭部の重大なけがを防げるからです。青年期には、「きまりを守っている」より「きまりを破っている」方が、かっこよいと感じたり、すかしている感じがして、やってみたくなるのでしょうか。大人の世界でも、シートベルト着用が当たり前になるまで、似たような状況があったように思います。しかし、シートベルトは着用が常態化しました。結局、命にはかえられないから守ります。きまりを守る力の方が、身につける価値は高かったのです。  
駐輪場の駐車方法に「めんどくさい」が目立つ状況もあります。めんどくさい人の特徴は、「考えない」ことです。学校教育目標から最もずれたこの感覚は、人としての成長を止め、これからの時代を生きる力を奪います。「考えれば、自ずと行動は決まりますよ！」

- ・本校には、「自由服登校期間」という生徒の力を高める取り組みがあります。  
→12月～2月とかなりの長きにわたって自由服登校期間に入っています。標準服で登校するのもよし、自分で考えて、この格好はどうかと、自分の感覚を大いに磨くこともできます。自宅でのお出かけと混同して、おしゃれやお化粧までチャレンジすると、「それはどうかな？」と釘を刺されることでしょうか。そんな経験も生徒のセンスを磨く貴重な体験になるはずです。世の中は様々な表現を認め、店頭立つ店員さんの頭髪規定などお店独自のきまりをなくす方向にあります。だからこそ、南郷中学校で学ぶ生徒の皆さんには、「考える」材料（貴重な体験）をたくさん経験してほしいと願います。学ぶことなく単に自由な世界に放り込まれた人は、自分を客観視することもできず、ただただ染毛やピアス等をするだけの自由の世界に存在しているだけで、求める（目指す）自由を見つけ出す力は弱いものです。南郷中学校の皆さんには、学べる経験の価値の高さに気づいて、そのことを誇りに思って、皆さんの人生をより価値のあるものにしてほしいと願います。

◆◆ 2023年が終わろうとしています。健康に気をつけて、良いお年をお迎えください。 ◆◆

ウクライナだけでなく、イスラエルでも、日本にいると気づけないような悲惨な戦争が続いています。その他の地域でも、紛争・戦争状態はあり、世界は未だ平和にはたどり着いていません。平和にたどり着くためにはもっと考えて行動できる力が必要なのでしょう。少しでも良い未来になっていきますよう祈念します。